

KSKPむすばる新聞, No.107

共に生きる家・すばる舎 編

発行:大阪 : 関西障害者定期刊行物協会, 1995.2.16. - 16p ; 26cm

請求記号:震災-7-z70

としよりを守ろう。ハンディを持つ人を支えよう

震災の中で、弱い立場にある人の苦しみが際立ってきました。

不安の中で、精神的に参っています。

私たちに募るのは、私たちの力のなさです。無力感です。

苦しみのさなかにある人を前にして、私たちに物がありません。金がありません。

もっと、人が要ります。

いつまで続くかわからない、救援活動に、今何もありません。

これまで、地域で生きて来た、弱い立場にある人が、これからも地域で生きて行けるよう、あなたの支援を待っています。

1000人の炊き出しを毎日すると物がいくらあってもすぐなくなります。

みなさん、野菜、肉を集めてください持ってきてください。

2月9日（木）2500人の炊き出しをしました。

物も、人もいくらでも欲しい、送ってください。

すばる福祉会の再建のために絶大な募金を

全国のボランティアの支援により、「すばる福祉会」は西宮・尼崎における救援センターとして活動しています。「すばる福祉会」の再建は、地域への救援を継続的に進めるものにしなければなりません。15年間ハンディを持つ人たちの地域生活を営んで来たこの地に、地域支援センターとしての任務をも含んだ「すばる福祉会」の再建にみなさまの絶大な支援をお願いします。

すばる福祉会は、全国からきているボランティアと共に地域を支えています。今後も長期にわたって、地域のニーズに対応していく必要があります。

震災の復興には数年以上かかります。「すばる福祉会」は、復興のために力を尽します。復興の拠点としての「すばる福祉会」本部の建設にみなさんのご協力をおねがいします。

むすばる運動（すばる福祉会　すばる舎　共に歩む会　ともだちや　ゆうほう）代表　西　定春				
西宮事務局	663西宮市上大市5丁目1. 7	TEL0798,53.0122	F A X	53.4191
尼崎事務局	661尼崎市常松2丁目13, 8. 101	TEL06,432.5879		

支援は直接 被災団体に

ボランティアが全国から集まっています 義援金も集められています。そのためのセンターがたくさん設置されています。

援助を受け、また被災地で直接に救援運動をしているものとしては、たくさんあるセンターに困ることもあります。

混乱もあります。行きちがいもあります。

私は、援助する人、ボランティアは直接、被災地を見るべき、行くべき、連絡をとるべきだと思います。

センターを介して混乱するよりは、現地と直で話しをするべきです。

義援金も現地の被災団体、救援活動団体に直接送る方が有効です。まちがっても、行政に送ることはやめるべきです。行政が、被災者に業者の弁当（中には1週間遅れのおにぎりもある）を配らせて、ことたれりとしているやり方のために義援金を使わせないように有効な義援金の贈り方をしてください。

私たちだけに欲しいとは云いません。送る人がよく確めて相手を知って送るべきです。センターが調整し、配分する方がより混乱が大きいと思います。送る人が直接確める方が自然と調整がうまくいきます。

現地で直接、救援活動をしている団体が調整するべきです

としより、ハンディを持つ人の救援を！すべての日本人による救援を!!

大震災への救援活動を継続してください

あの大地震から一カ月が経とうとしています。地獄のような激震において多くの犠牲が出ました。人々は、恐怖の中に突き落とされました。時間の経過において、瓦礫の町は、それなりに落ち着いてきつつあります。仮設の住宅が建設されつつあります。入居者の発表もありました。しかし、当選した人は、1%ほどの人です。この結果が、人々に長期戦を覚悟させています。

まだ、西宮のほとんどすべての学校・公民館・会館は、避難所のままです。神戸・芦屋も同様です。地震は、人々の心の中にも大きな傷を残していきました。特に、年寄り、はまだまだ不安のどん底にいます。

若い元気な人は、新しい住みかを探して避難所を出て行きます。大きな職場に勤めている人は、企業が社宅を用意してくれます。しかし、年寄りには為す術がありません。不安におののくのみです。「すばる福祉会」に駆けつけたボランティアが、毎日3回の食事を持って訪問してくれることが何よりもの慰めとなっています。

私たちは、体の不自由な人たち、知的ハンディを持つ人たち、年寄り、を救援することを最優先にして活動を行っています。しかし、私たちの無力感は募る一方です。避難所で不安の中で生きていかねばならないその人たちに、私たちは炊き出しと話し込みしかできません。その人たちが、一日でも早く安心して生活ができるように私たちは力を尽さねばなりません。私たちは、その人たちを支え続けねばなりません。

私たちも、多大の損害を被りました。これを復興するためには、何億の金を必要とするのでしょう。この算段をする余裕が私たちにはありません。

体の不自由な人たち、知的ハンディを持つ人たち、年寄り、の苦しみを前にして、私たちは自分たちのことを考えることができません。

みなさん、被災地の弱い立場にある人たちを救援してください。私たちの無力さを助けてください。

合掌

1995年2月15日 すばる福祉会 会長 西 定春

○義援金送付先 郵便局 郵便振替 01190・8・4602「すばる舎」
尼崎信用金庫門戸支店普通234605「すばる舎 代表 西 定春」
住友銀行西宮支店 普通804793「すばる舎 代表 西 定春」

[新聞記事あり 明日への祈り 省略]

みなさん！

写真で実感できますか。

被災地にぜひ足を運んでください。

5000人の命を奪った地震のすごさをあなたの目と足で確かめてください。

瓦礫の中で苦しんだ人々に思いを寄せてください。

そして、考えてください。

行動してください。

[写真あり 脱線 高架が崩れ脱線した阪神電車＝神戸市灘区 省略]

[写真あり 横倒し 激しい震動で横倒しになった阪神高速 省略]

大震災 この地から光を

さわやかな風

～ボランティアたちのほほえみ～

さわやかな若者たちが震災の地を続々と訪れています。そして、みんなの心に熱いものを手渡して去っていきます。まだ、やり残したことがあることの悔いを土産として...

今、この地から光を放っています。その1

こちらが勇気づけられた

ただ悲しくて、どうしようもなかった私ですが、こちらにきて、すばる舎の力強い活動力に、こちらが勇気づけられました。

これからも微力ですが、応援していきます。

1月29日 野村みどり

一人の力では、どうにもならない

被災者の方々のつらさ、せつなさは、これからまた、いっそう募るでしょう。一人の思いや力では、どうにもならないということを痛感しながら、帰ることになって...

帰ってから、また新しく私の活動を組織的にはじめます。

すばる舎のみなさんの明るさと思いやりには、ほんとうに心から込み上げてくるものがあります。特に、赤崎さんには、いろいろなことを学びました。ありがとうございました。

がんばってください。

すぐには無理ですが、また来ます。

1月29日 広島 田村安規子

ここの受け入れはよかった

どこにボランティアに行ったらよいかわからず、神戸市に電話をしたのですか、登録順に連絡があるということでした。それで、こちらに来ました。

ボランティアへの采配は、ほんとうにたいへんだと思います。

一度来て、考える。そして行動するという、う、こちらの受け入れは良かったと思います。みんなが、それぞれに考える機会を持てたと思います。

どうもありがとうございました。

2月2日 堺市 楠木美貴子

みんなが考えて行動できるようになれば、

とりあえず、炊き出しのボランティアに参加しました。今、自分がなにをすれば良いのか、瞬時に考えることができず、一日二日は、指示を待つ時間が多くありました。

せつかく、多くの人が何かをしようと集まっているのですから、みんな一人ひとりが、考えて行動できるようになれば、すばらしいと思います。私自身も少しでも、より考える人になれるように努力していきます。

よろしくお願いします。

2月3日 吹田市 片野貴子

スムーズにできるようになりました

今日で3回目のお手伝いでした。

最初の2日に較べて、何ができるかを考えられたように思います。

段上小学校では、炊き出しをしているのを知らなかったという人が何人もいました。

火曜より木曜、木曜より土曜と、スムーズに作業を行えました。

2月4日 大阪市 田中志保

私の提案でサラダを食べてもらいました

今日で4回目です。徐々に自分で考えて、何をすればよいのかを行動に移していけるようになりました。今日は、私の提案でポテトサラダをメニューに加えてもらいました。みなさまに協力していただいて、おいしいサラダができました。好評でした。うれしかった

また、何か少しずつお役に立てるよう、頭を使っていきたいと思っています。

よろしくお願いします。

2月4日 吹田市 片野貴子

すばる福祉会の再建に関するメモ

すばる福祉会 会長 西 定春

震災対策要領 メモ

- 、すばる福祉会は、ハンディキャップを持つ人たちの救援やケースワークを最優先にして活動を行います。
- 、まず、すばる福祉会のメンバーの安全を確保します。
- 、地域の知的ハンディを持つ人たち、体の不自由な人たち、高齢者への、介助・世話・給食活動を重点活動とします。
- 、すばる福祉会、地域の被災者に対して、支援ボランティアの自発的な取組として、炊き出し活動やその他の必要な活動を行います。

すばる福祉会復興計画 メモ

1, 人的な復興

すばる福祉会は、小さな福祉事業体です。今回の震災において、希望の光が見えたのは関西を中心とした作業所の人たちの支援が入ってからです。どんな災難に出会っても、負けないスタッフ態勢を確立していかなければなりません。

ボランティアによる地域への支援活動の中で、スタッフの確保を図っていきたいと願っています。

2, 建物や機械備品などの復興

1, 本部・上大市ホーム・福祉の店 ともだちや の再建

地域で生活をして15年間に過ぎたところで、大震災がありました。「すばる福祉会」が、今後の活動を展開していくためには、本部建物の再建が重要な課題です。この本部建物を、これまでの機能に併せて、地域支援センターの役割をも荷う建物として再建したいと願っています。防災を考えて、鉄骨造りのエレベーター付き建物を建設することができればうれしいと願っています。もちろん、上大市ホーム・福祉の店 ともだちや もその中には入ります。これに要する費用は、何を建てるかによりますが、数億円を要します。

2, 共働作業所 太陽工房の再建

ダメッジが大きく、作業所として使用することは困難な状況です。行政からは、1年間を限度にプレハブの貸与をすることの話しもあります。私たちは、当面これを要求するとともに、法内施設化を具体的に進めていく要求を出して行きます。

3, マンション内の各ホーム、作業所の建物については、管理組合の中で相談して再建を図っていきます。

「えぶりい門戸」「えぶりい常松」は、建物の補修、水道、ガスの補修と製造機械の修理で、動かせませす。「えぶりい門戸」は、1月23日に再開できたのは、幸運でした。「えぶりい門戸」の周囲は、みなコケています、奇跡的でした。

関西一円の作業のみなさんありがとう。

みなさんによって地域の人たちが支えられています。

みなさんの熱い心に感謝します

全国のみなさん、あなたは大地震の地に足を運びましたか

この悲惨な現実を目にしましたか、大都市における直下型地震の恐しさを知りましたか。

日本のどこかでまた必ず同じことが起ります。どうぞ今行動をしてください

落葉の掃き寄せ

なぜ私たちが、地域を丸ごと救援する活動をしているのだろう。なぜ一番貧乏な私たちと関西の作業所の人たちが、1000人の炊き出しを続けるのだろう。

一息就いた時、こんな重いが頭をよぎります。

しかし、苦しんでいる年寄りやハンディを持つ人たちが、避難所の奥にいます。しんどい人たちが避難所に残っています。その人たちから目を背けることはできません。関西の作業所の人たちには、ほんとうに申し訳ない思いでいっぱいですが、少し長期にわたって甘えつづけさせてください。支援をお願いします。

「すばる福祉会」は、全国から集まるさわやかな若者で占領されています。私たちはうれしい悲鳴を上げています。

彼らは、この地から去らねばならない時、涙を流して「また来ます」との言葉を残して出て行きます。

日本は、この若者たちで支えられていきます。

(西)

KSKP むすばる新聞 頒価200円

編集 共に生きる家・すばる舎

発行 関西障害者定期刊行物協会

もっとも重いハンディを持つ人たちの立場から社会福祉を創ろう

やさしさの世界を創ろう

すばる福祉会福祉会は、キャップをもつ人たちが、地域社会の中であたりまえに生き、共に働くことをめざしています。

メンバーもスタッフも対等に地域社会の一員としてありたいと活動しています。

スタッフ募集

共に生き、共に働くところから明日に

すばる福祉会 会長 西 定春

西宮事務局 663西宮市上大市5丁目1の7 TEL0798,53.0122 53.2324（夜間緊急連絡も） FAX 53.4191

尼崎事務局 661尼崎市常松2丁目13. 8. 101 TEL06,432.5879

振込口座

○郵便振替 01190.8.4602 「すばる舎」

○尼崎信用金庫 門戸支店 普通234605「すばる舎 代表 西 定春」

○住友銀行 西宮支店 普通804793「すばる舎 代表 西 定春」

共に生きる家 すばる舎

すばる舎 すばる舎上大市ホーム TEL0798,53.0122 663西宮市上大市5丁目1. 7

すばる舎こんどホーム TEL0798,53.0122 663西宮市上大市5丁目11. 1の311と508

すばる舎中島町ホーム TEL0798,53.0122 663西宮市中島町18. 2の203と505

すばる舎武庫北ホーム TEL06,432.5879 661尼崎市常松2丁目13. 8の301と401と402

すばる舎常松2ホーム TEL06,432.5879 661尼崎市常松2丁目13. 8の601

すばる舎西昆陽ホーム TEL06,432.5879 661尼崎市西昆陽1丁目31. 22の403

通所作業所

共働作業所太陽工房 TEL0798,53.0122 663西宮市段上町6丁目23. 3. 3

えぶりい門戸作業所 TEL0798,51.4340 663西宮市神呪町54. 3

ワークショップサンシャイン TEL06,432.5879 661尼崎市常松2丁目13. 8の101

えぶりい常松作業所 TEL06,433.3494 661尼崎市常松1丁目24. 6

ワークショップアポロ TEL06,387.4391 564吹田市岸部北2丁目8. 3

仮称宝塚作業所 宝塚市安倉西

福祉の店

ともだちや TEL0798,53.4191 663西宮市上大市5丁目1. 7

ゆうほう TEL0798,53.2324 663西宮市上大市5丁目11. 1の508